

このまちの100年

「小田原」

戦国時代、北条氏の本拠・小田原は、関東随一の城下町に。江戸期には東海道最大の難所、箱根路を控える宿場町・小田原宿として大きく発展。そのにぎわいや文化は現在まで引き継がれています。



大正期

小田原町(現在の小田原市)本町。右の建物は老舗の外郎家



昭和10年頃

小田原町時代の市街。小田原町は昭和15年に市制を施行した



昭和30年頃

箱根登山鉄道小田原市内線が走る幸町付近。バスの姿も見える



昭和30年頃

小田原市城内にあった頃の小田原市役所



昭和30年頃

小田原市子供遊園地。飛行塔、豆汽車などがあった



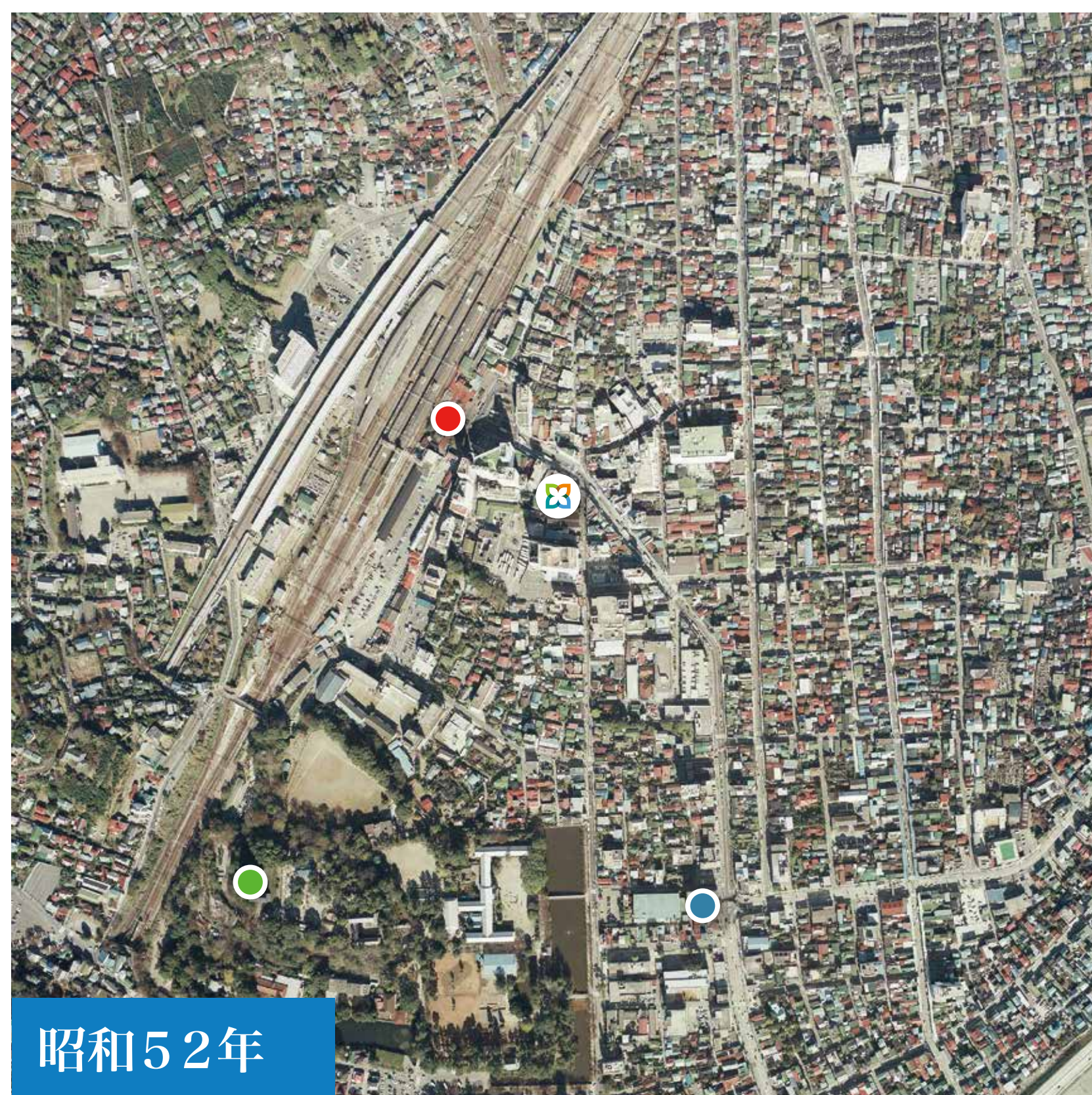
昭和40年頃

小田原駅にあった箱根登山鉄道デパートは、昭和34年に開店した

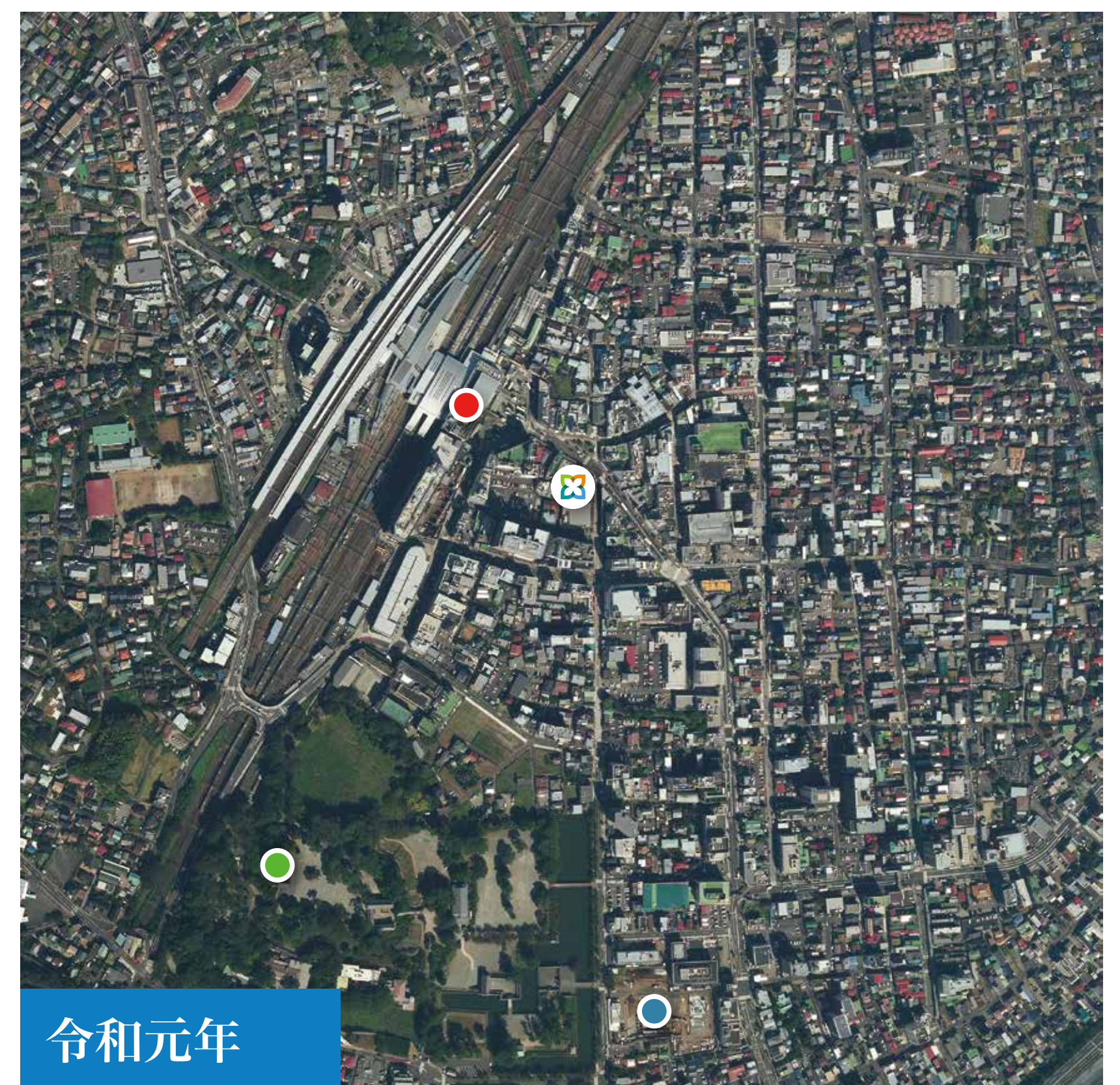
上空からみた小田原エリア



昭和22年



昭和52年



令和元年

●：新名学園／小田原市民会館／小田原三の丸ホール（令和3年～） ●：小田原城址／小田原城 ●：小田原駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ